

勝山から

地球に愛を

第1部 川を守る

環境問題への意識の高まりの中、勝山市はエコ環境都市を目指してさまざまな取り組みを行っています。

また、花いっぱい運動や、清掃活動など積極的にエコ活動に取り組む地区や団体、企業などが増えてきています。

市民一人ひとりが、また企業・団体、行政が協働で勝山市を美しく保ち、維持していく運動を広げていきましょう。

「クリーンアップ九頭竜川」の様子



中学生による河川清掃の様子

その他の河川清掃活動
中部中学校と南部中学校では、毎年学校付近を流れる川（浄土寺川・淀川）の清掃活動を行っています。
また、毎年河川清掃を行う地域も増え、意識啓発が進んでいます。



(社)勝山青年会議所理事長 安居貴久さん(写真右)、担当委員長の辻貴弘さん(左)

「今年で6回目になるこの事業は、市民の皆さんに九頭竜川の美しさを再認識してもらうことから始めました。今後は、他の市町と連携して流域全体の保全活動へ広げていきたいです。」

(社)勝山青年会議所理事長
安居貴久さんのコメント

また、清掃活動のあと、子どもたちが九頭竜川に鮎を放流しました。

クリーンアップ九頭竜川

5月30日に(社)勝山青年会議所が主催する「クリーンアップ九頭竜川2010」が開催されました。

九頭竜川の清掃活動であるこの事業は今年で6回目を迎え、多くの団体や企業、市内および流域の他市町ボランティアなど、過去最高の755人が参加し、約2・9トンのごみを回収しました。

この豊かな川を美しい姿のまま後世に残すため、清掃活動を通じ、ごみを川に「捨てない・捨てさせない」環境づくりや啓発活動が進められています。

勝山は周囲を山に囲まれ、豊かな自然環境の中にあります。
また、年間を通じ雪・雨の量が多い地域であるため、市内の至る所で常に豊かな水が川に流れています。

特に福井県下最大河川である九頭竜川が中央部を流れ、太古より涸れることなく豊かな恵みをもたらしてきました。



5月26日福岡県筑後市で開催された、第18回環境自治体会議であいさつする松村副市長

環境自治体会議って？
環境政策に積極的に取り組んでいる全国の自治体で構成されている会議。自治体や団体間のネットワークづくりを推進し、情報を共有することで環境政策を推進することを目的としています。
現在56自治体に参加しています。



■**エコ環境都市をめざして**
勝山市内では、これまでご紹介してきたように環境に関するいろいろな取り組みが行われてきています。「クリーンアップ九頭竜川」をはじめとする河川清掃・保全活動や、「かつやまをきれいにする運動」「花いっぱい運動」による地域内での清掃活動、学校での環境学習活動などが広がってきています。

■**市役所の取り組み**
勝山市役所では、第20回環境自治体会議開催に向けて、環境に配慮したさまざまな活動を行っています。具体的な取り組みとして、市職員による市内のボランティア清掃活動、自動車に代わる通勤手段として公共交通機関や自転車を利用する「カーセーブデー」、夏季に実施する「クールビズ」(庁内気温を28度に設定、ノー上着、ノーネクタイ)など、エコ環境都市の実現を目指してさまざまな取り組みを実施しています。

平成24年 勝山市で全国「環境自治体会議」開催へ

5月26日に福岡県筑後市で開催された環境自治体会議平成22年度総会において、平成24年に勝山市で全国大会を開催することが承認されました。

ごみ減量化のために できること

市内の家庭や事業所から排出されるごみの量は年間7500トンを超え、ひとり当たり約280キログラムのごみが出されています。ごみの排出量が増え、その処理工程による大気中の二酸化炭素量の増加などを招き、環境へ悪影響を及ぼします。「ごみゼロ社会」を目指し、ごみの減量化の実現のためには、家庭や地域における「3R」(リデュース、リユース、リサイクル)の推進や生ごみの減量、紙の分別などが不可欠です。



地域・家庭から始める「3R」・ごみ減量

**リデュース
(Reduce)**

家庭から排出されるごみそのものを減らすこと
マイバッグ運動や、過剰包装のものを買わないなど。

**リユース
(Reuse)**

繰り返し使うこと
壊れても修理して使う。古着はリサイクルやフリーマーケットに。

**リサイクル
(Recycle)**

ごみを再び資源として再利用すること
缶、びん、ペットボトルなどごみを分別して排出する。



ワンポイント “家庭ごみ減量”

・生ごみはギュッとひとしぼり！家庭で実践「生ごみ減量大作戦」

生ごみの80%は水分です。この水分を減らすことでごみ減量になり、焼却施設にかかる負荷も減らせるためCO₂削減になります。

夏場は特に水分の多い食材が使われるので、ごみ袋に入れる前にギュッとひとしぼり！水分をしっかり切って出しましょう。

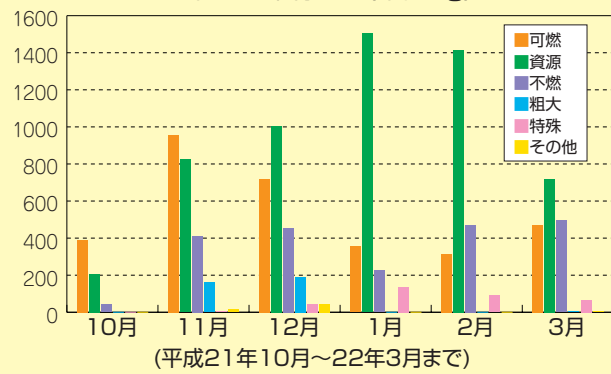
・「紙類」は分別してリサイクル

家庭から出るごみで一番多いものは「可燃ごみ」。その中に再利用できる紙がたくさん含まれています。

勝山市では「新聞紙」「段ボール」「その他の紙」「紙パック」に分別収集し、リサイクルを行っています。きちんと分別して再資源化にご協力ください。



不法投棄パトロールで回収した可燃・不燃・粗大・特殊
その他の廃棄物の量(単位:kg)



STOP! 不法投棄

不法投棄防止
パトロール強化中

勝山市では、昨年度より、継続的に不法投棄防止パトロールを実施しています。パトロール中に、これまで撤去された不法投棄廃棄物は、テレビ、冷蔵庫、洗濯機等の家電やパソコンや廃タイヤなど多岐に渡ります。
廃棄物の不法投棄は、重大な犯罪行為です。もし不法投棄を発見した場合は、速やかに不法投棄110番(☎88・8104)までご連絡をお願いします。

広がる「マイバッグ」

4月1日から一部市内量販店で、レジ袋の有料化が実施されています。平成18年度に39%だったマイバッグ持参率が、有料化を実施した店では、今年の4月に90%を超えています。これまでの地道な運動の成果が表れています。

誰もが簡単に取り組める身近なエコのマイバッグ持参運動をみんなで推進しましょう。

マイバッグ持参率の推移

18年度	39%
19年度	46%
20年度	58%
21年度	60%
22年4月	91%

※18～21年度数値は、勝山市と勝山市消費者団体連絡協議会調べ
※22年4月分の数値は、レジ袋有料化を実施した市内4事業者の定期報告によるもの



市消費者センターに寄せられたマイバッグは貸し出しをしています。